

**第十三回全国沖縄県人会交流会
東京にて開催** 一面からの続き

また、作家で元外務省主任分析官の佐藤優氏が「沖縄アイデンティティー」について講演され、母親が久米島出身であることを紹介して「自分は沖縄人である」と思っている。我々は誰だろう、イデオロギーではなくアイデンティティーが大事、今、辺野古に土砂を入れられても、一〇〇年掛けてもその土砂を出せることが出来るはずである、沖縄は頭が良い、そういう知恵がなければ生き残れない、自信を持って行動することが大事であり誇りを持つことと時折「トモアを交えて語りました」。

交流会では、北海道から高知県までの各県人会会長が紹介され、余興では宮古島出身のうえち雄大さんと沖縄市出身の桑江知子さんが素晴らしい歌声を聞かせ拍手喝采でした。



左から仲宗根広子会計、与那覇政治副会長、翁長雄志知事、仲宗根界会長、上運天有二副会長、辺土名昇事務局長

愛知沖縄県人会連合会からは、仲宗根界会長、与那覇政治副会長、上運天有二副会長、辺土名昇事務局長、仲宗根広子会計の五名で参加。沖縄の直面する課題と明るい未来を肌で感じることが出来、有意義な一日となりました。

また、この日に合わせて準備した小林由宣ディザインの「あいち沖縄かりゆしウエブ」を5人揃って着用し、参加者の皆さんから素晴らしい声を掛けていただき、最後は全員でカチャーシーを踊り交流会の幕を閉じました。

**私の戦争体験 ③ 渡久地政子
「少女が見た沖縄戦」**

今年太平洋戦争が終結して七〇年目の節目の年になります。

悲惨な沖縄戦を忘れないようにすることが、我々、沖縄に関係する者の役目かなと思いい、沖縄戦を体験された渡久地政子さん(七五歳・豊田市在住)に、当時の様子を想い浮かべながら文章にして頂きましたので、4回に渡って連載致します。

【訂報】渡久地政子さんが病氣療養中、十月二十八日にお亡くなりになりました。享年七十五歳。

「心に謹んでお悔み申し上げます。いつも笑顔で優しい方でした。「少女が見た沖縄戦」を遺書のように書き留めて頂いたそうです。感謝です。」

やんばるをめぐって

桃原、早くに母親を亡くした私の母を育ててくれた仲地のおじー、おばーのいる所だ。おじーは長年村長をしていて村の名士でもあり、家、屋敷も広かった。けれども客間はすでに読谷から避難してきた三大家族が住んでおり、私達は裏座に落ちついた。

道の向かいの共同売店をしている家にも村の主だった家は避難してきた人たちを受け入れ、見知らぬ子とよく出会った、村全体がざわめいている感じだった。

絶え間ない空爆にさらされた道中に比べて空襲も少なく、人々は様子を見つめながらいながら畑も田植えもしていた。難民を受け入れる村のしくみも何とか動いていたのかもしれない。

つかの間の平穏も長くは続かず、伊江島が遭われた、辺土名が火の海(この様子は山の高台からよく見えたらしい)といっ話しが伝

**2016年
全国のやいまびとつう大会を準備**

去る九月四日に八重山の三自治体(石垣市竹富町・与那国町)が合同で、来年度「2016全国のやいまびとつう大会」を石垣島祭りが開催される来年の十一月五日〜七日の間に開催すると、2016全国のやいまびとつう大会実行委員会(会長・中山義隆八重山広域市町村圏事務組合理事長)の総会にて発表されました。

開催主旨は、全国各地に存在する八重山出身者の郷友や学生などの「やいまびとつう」をはじめ、八重山郡と関係の深い人々との全国ネットワークを通じて、郷土愛を喚起高揚し、郷土出身者の英知と力を活用し、活力のある新たな八重山の創造を目指し、郡民協働による2016全国のやいまびとつう大会を開催することです。

東海地区の代表には、東海つるまの会代表で岐阜県在住の仲大盛(なかもり)克亮さん(石垣市真登車出身)が担当します。

東海地方に在住の八重山出身の皆さんやゆかりのある皆さん、ぜひとも協力いただき八重山を盛り上げていただきたいとのこと。

お問合せ・連絡先は
仲大盛さん 090 4261 9463 まで
皆さんのご連絡をお待ちしております。

【訂報】仲宗根吉さん 昨年一月から病氣療養中でしたが、去る十月十五日にお亡くなりになりました。

享年七十三歳 宮古島出身 名古屋港区
豊田沖縄民謡愛好会 長年にわたり、琉球舞踊の指導にあたりました。
いつも声を掛けてくださり、笑顔で接してくれました。「心に謹んでお悔み申し上げます。」

わる頃から山の奥へ、隣組単位ではなく、親戚身内で固まりながら移動した。私たちは仲地の人たちと一緒にだった。

しばらくして伊地のおじー(母の実父)が避難小屋ができたからと迎えに来た。その移動の途中だったと思うのだが、他の人たちと長い行列で歩いている時、前方から子どもには見せないでと叫ぶ声、すぐ隣の人が片手で私の目を覆い、片手で私をぐっと引き寄せその場を通った。臭い、初めて嗅ぐたまらないニオイ、何かで覆われていたけれど、こんもりと積み上げられたものは人の死体だろうと思っ

伊地のおじーの作った小屋には母の三人の妹と辺土名のワンメー(おばあさん)がいた。チャン小(ぐわあー)のおばーの一番上の姉で白髪、腰は九〇度位に曲がっていた。

女、子どもを養う為、おじーはいづろるのかと思うほど動いていた。考えてみると一五キロはあろうかと思う伊地の畑まで往復して、芋、カンタ葉(芋の葉)、人参、キャベツなんでも運んできた。母もやがて下の二十歳位の二女も加わった。山足(やまびし)や(山仕事の達者な男という意味らしい)と言われていた、おじーは山の地形を知りつくし、夜道でも一度も迷ったことがなかったらしい。

やがて畑の物は食べつくし、蘇鉄やチツハツバ(ツツブキ)、アタビ(蛙)、小鳥何でも食べていた。

稲が実る頃、三女も加わり、四人で稲を狩り、束ねて明るくなる頃は戻ってきた。

その頃は、読谷あたりから来た人たちは行き倒れる人が大勢いて、ある夜母は暗闇で、動けなくなった人を踏んで「ヒエッ」とかすかな人の声にぎよっとした事があり、その時の足裏の感触を今でも覚えていると後々まで話していた。

小屋の中は稲束が増え、寝る間もなかったが、もつ幻に近い白いはんが食べられると

**愛知の沖縄調査会
島くとうば島唄ライブ開催**

去る、八月二十八日(金)に、名古屋市中区の泡盛王国にて、愛知沖縄県人会連合会主催の島くとうば島唄ライブが開催されました。

開催主旨は、県人会が委託して、愛知の中で沖縄県人や沖縄に関わりのあった先人達を調査してまとめている、愛知の沖縄調査会の出版費用を捻出するための合同行事です。

第一回目の開催日は、ウークイ(旧盆の末日)に行われる先祖の霊を送り返す儀式(ウークイ)の日と重なっていたことから「ウークイをテーマに調査会の代表でもある、阪井芳貴名古屋市立大学教授から講演がありました。

沖縄の旧盆の風習やそれに対する沖縄県民想いなど、楽しくためになるお話をお話伺うことができました。



阪井芳貴
名古屋市立大学教授

後半の島唄ライブでも港川繁民謡研究所のみなさんによる演奏と港川先生が沖縄に居た頃に踊っていた昔ながらのエイサー踊りを披露して楽しいひと時をすごしました。

次回開催は、一月十七日(日)ムーチーの日
ムーチー(家内安全・厄除けの鬼餅)について楽しく、ためになるお話を伺いたいと思います。

第2回島くとうば島唄ライブ
日時 二〇一六年 一月十七日(日)
午後六時受付 六時半開始
場所 泡盛王国 参加費二千円 おつまみ付き
お飲み物は別途ご注意ください。

私たちはほんのり幸せだった。食へ物から考えると三月から七月頃にかけての事ではなかったかと思っ

行き交う人からの情報で米軍はすでに上陸、この山の中でも大勢のアメリカ兵が住民を探しまわり、いきなり撃たれた人。与那の誰れれさんが死んだという話し。

やがて山羊目(ヒージャーミー)をしたアメリカの大男を近くから見たという人、それやがて住民が畑をほしくていても知らん顔して通りすぎて行ったという話まで伝わってきた。それと共に、かつては「ガンバツタサイネ」と別の言葉をかけ頼りにしていた友軍は敗走兵となり、住民をおどし、食料を強奪する強盗まがいにって出沒し、空襲とは又別の恐ろしさが住民の間に広がっていた。

愛知沖縄県人会連合会 賛助会員募集中 ここから →

◆沖縄イベント情報◆

★2016年 1月17日(日) 18:00受付 18:30開演 ~20:30
第2回 島くとうば 島唄ライブ
場所 泡盛王国 名古屋市中区栄4-10-25 三景ビル3F
入場料 2000円 おつまみ付き ドリンクは別途ご注文ください
愛知沖縄県人会連合会 主催「愛知の沖縄調査会」の出版費用を捻出します。皆様のご協力をお願い致します。
この日は、ムーチーの日にあたるので阪井芳貴先生がムーチーの話しをしてくれます。島唄ライブ出演者は調整中です。
お問合せは ☎090-2948-1215 新城まで

★2016年 3月6日(日)
宮古民謡保存会名古屋支部 15周年記念公演 開催決定
宮古ぬあやく ~綾語(あやく)ぬ唄道(うたむつ)~
会場 名古屋市芸術創造センター
詳細は次号でお知らせ致します。

**琉球親和会 平良榮昌さん
カジマヤーをむかえて**

豊橋市を拠点とする、琉球親和会の前会長である平良榮昌さん(国頭郡大宜味村出身)が昨年の十二月六日に第二の故郷、豊橋で盛大なカジマヤー(九七歳の長寿祝い)を執り行ったそうです。

沖縄県内では千支の年が過ぎてきますと、厄払いと健康を祝うしきたりがあり、カジマヤーとは、風車のごとで童心に帰ることを意味しており、親戚一同が帰郷して、長寿祝のアカイ(さかすき)のお酒を受けるお祝いです。

平良さんは豊橋市の老津(おいつ)において、老津開拓団長、老津開拓農協組合長を歴任し開拓事業が軌道に乗るまで大変な苦難の時代を耐えてきました。



写真右 カジマヤーの様子
前列右が平良さん
ご家族と共に
写真下 風雪に耐えて

そんな苦難を自分史として残すこと、回想風雪に耐えて全三刊を刊行するなど、そのバイタリティーは私達も大いに学ぶところがあります。

平良榮昌さま、これからも益々お元気で、自愛ください。「健康を心より祈念しております。」

**沖縄関連 新刊本の紹介
『気持ち伝わる！
沖縄語アルフレーズBOOK』**

うちなーぐち(沖縄語)という言葉は、沖縄の方で言われていましたが、二〇〇九年にユネスコの危機言語指定を受け、言語として認識され始めています。

この本は、そのネイティブな発音を無料でダウンロードして学べるようになっています。これからの沖縄にとって、ぜひ一読ください。能力があります、ぜひ一読ください。



長 (ながー) さや =久しぶり etc

東筋秀盛・みずえ民謡研究所
(会員募集中・初心者歓迎)
〒481-0006
愛知東北名古屋市熊之庄射矢重103番地
TEL 0568-24-2533・24-2547
Eメール mizu_e.9.11nifaiyu@yahoo.ne.jp

著者 比嘉光龍
ふじやばいろん
発行 樺研究社
定価 1400円+税

愛知琉球エイサー太鼓連
会長 奥間 貴祐記
E-mail taikoren_8131@yahoo.co.jp
URL http://www.geocities.jp/eisa_taikoren
「愛知エイサー」で検索！ メンバー大募集中！

屋嘉比三線屋
三線販売・修理・製作・教室
(052) 701-1107
名古屋市名東区新宿2-17
HP sanshin.bo.jp

沖繩居酒屋 ゆいゆい
大城節子
〒460-0008
名古屋市中区栄三丁目8番27号
栄ビル1F
栄アソシエス大通り かに本家隣
TEL 052-263-5663
http://yuiyui.ikidane.com

どんな事でもご相談ください！
葬儀・法要・永代供養・海洋散骨
沖繩仏壇&位牌・門中墓の改葬&墓じまい
株式会社メモリー
TEL: 052-253-8127 FAX: 052-253-8137
mail: info@memory-hall.co.jp
営業所: 刈谷、豊橋、神戸、沖繩サボートデスク

沖繩家庭料理 世界報 林久江
〒473-0912 豊田市広田町広田512
TEL0565-52-4727 携帯090-7681-9387
営業時間 17:00-24:00
定休日 日曜日・第3月曜日

琉球民謡保存会・東海支部
山田文門民謡研究所
教師 山田文門
〒460-0012
名古屋市中区千代田3丁目14-1
TEL (052) 253-6190
携帯 090-1414-9905